

委員会報告



9月7日の本会議で付託された6案件を審査するため、9月20日に委員会を開き審査を行った。

■ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

組合の名称変更に伴い規約の変更を行うもの。

■ だて歴史の社食育センター条例について

平成30年1月供用開始の食育センターを設置するための条例制定するもの。

■ 通称マイナンバー法の改正による条例の改正について

法改正に伴う関連条例の改正を行うもの。

■ 職員の自己啓発等休業に関する条例の改正について

法改正に伴う関連条例の改正を行うもの。

平成28年度の市民活動センターの稼働実績は、1,204件²⁵、348人の利用があり、この内市の利用は59%、市民の利用率は41%となつた。また貸室の利用率は26%だった。市の利用としては、税の確定申告や選挙投票会場として活用されている。

課題は低い利用率だが、市役所機能の一部にもなつていてことから、利用のバランスを図っていくかがポイントとなつていて。なお、市からは開館時間の見直しを検討している旨説明があつた。

政策推進室については、小規模コミュニティの開設支援がある。

今後、広域コンシェルジュ事業として西いぶりの移住相談窓口を開設し、移住情報の情報発信にも努める。

所管事務調査

8月28日(月)



法改正による税率の見直しのための条例改正を行うもの。

■ 都市計画税条例の改正について

法改正に伴う関連条例の改正を行うもの。

■ 市税条例等の改正について

法改正に伴う関連条例の改正を行うもの。



大滝市営住宅（大滝にある市営住宅）



産業民生
常任委員会

委員長 洞 口 正 章

9月7日の本会議で委員会に付託された市道路線の認定など3議案を審査するため、9月19日に委員会を開き審査を行った。

■市道路線の認定及び廃止について

○認定を求める市道路線は：

- ①大滝区昭園三階滝線
- ②大滝区湯沢昭園線

●廃止する路線は：
①大滝区昭園三階滝線
②大滝区湯沢昭園線
③舟岡町にれの木11号線
認定路線①と②は国道45
3号の完成により起点・終点
の変更によるもの。
また廃止される路線の③は
伊達市所有地の売却処分によ
るものです。

平成28年3月策定の「第2次伊
達すこやか親子21」の理念「すべての
子どもが健やかに育つまち」に基づ
き進められている、妊婦・乳幼児
健診、思春期保健などの各事業に
関して説明を受け質疑した。
質疑では、多くの事業を実施で
きる体制となっているのかとの問い
に、「市職員以外のマンパワーを確
保し取り組んでいる」との説明が
あつた。

また新生児訪問では平成28年か
ら194件の全戸訪問で、必要な
関係機関と連携を図るとともに継
続訪問を実施しているとの説明が
あつた。



産業民生常任委員会報告

所管事務調査

8月24日(木)

介護保険制度に関することおよ

以上付託された3案件は、全員
一致で原案のとおり「可決すべきも
の」と決定した。

★地域包括ケアシステムについて

介護保険法改正により特別養護

老人ホームへの要介護2以下の入所
要件が厳しくなったことを受け、地
域で支えあう「地域包括ケアシス
テム」の概念について市の取り組み、
進ちょく状況について説明を受け質
疑を行つた。

平成28年4月「伊達市在宅医療・
介護連携推進協議会」設置後、市
民を対象とした講演会、各種勉強
会を開催、システム構築に向けた
具体的な協議と問題点の洗い出しを
行つてはいるとの説明があつた。
関係会議では、全国一律の体制
づくりでは地域に合った体制づく
りができるのか、マンパワーが地
域で確保できるような取り組み
も必要ではないかなどの指摘があつ
た。

び保健センター事業に関する事柄
のうち次の点について担当部局から
説明を受け質疑を行つた。

平成29年度

一般会計補正予算



9月12日に本会議場において審査された。

一般会計の補正予算は総額約 **7億6,759万円**の追加。

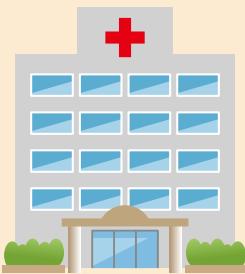
主な事業は…（質疑の多かったものを中心に万円単位で掲載）

伊達赤十字病院の充実のために

CT装置用ワークステーション（解析装置）・骨塩定量装置（骨密度の測定装置）が耐用年数を超えて使用し故障が頻発していたので、機器の更新をするもの。

市の負担する補助率はそれぞれ1/2となっている。

病院側の財務状況を踏まえて、患者の増加と利便のために今後も整備していく予定。



伊達赤十字病院

医療機器等

更新事業費補助金

1,431万円

伊達産ワインの生産を目指して

伊達市の気候を活かした醸造用ぶどうの試験栽培を平成31年度から実施するための債務負担行為を設定する。

民間企業（サントリーワインインターナショナル株）の指導のもと、栽培から数年後試験醸造をして製品化を目指す夢のある事業となる。

苗は発注してから2年ほど時間を要することから本年度中に債務負担行為を設定する。



醸造用ぶどう
生産推進事業

270万円

※債務負担行為とは…

本年度に支払いが発生するものではなく、将来に発生するので、来年度以降に予算計上される。



委員長

阿部正明

予算決算
常任委員会

平成28年度

各会計歳入歳出決算



9月25日、26日及び27日に本会議場において、平成28年度各会計歳入歳出決算等の審査を行った。審査の中では各会計の施策の成果及び予算執行実績などの質疑を行い、全員一致で原案のとおり認定した。

主な事業は…（質疑の多かったものを中心に万円単位で掲載）

市営墓地の整備に向けて

現在、伊達市内に9か所、大滝区内に4か所の市営墓地がある。

時代の変化もあり、墓地の考え方も多様化している昨今、管理上の問題もあり墓地の集約が課題となっている。

継承者の問題もあり、時間もかかるので、調査をして、墓地集約の考え方を7次総合計画に明記することを確認した。



墓地維持管理費 約362万円

カナダへ行きました！！

平成28年10月5日から12日の日程で生徒13名が、姉妹都市であるカナダ・レイクカウチン町を訪問した。

この事業は、大滝中学校1・2年時に1度カナダへ行き、英語教育の成果を確認するとともに、国際交流の理解を深めるもの。



レイクカウチン町
中学生派遣事業 594万円



豆知識

◆決算って
なぜ行うの？

地方自治法に基づき、市長は、監査委員の意見を付けて議会の認定に付さなければならぬことになっています。

その年度の歳入歳出予算執行の結果を総合的に検証し、行政施策の質や効果などを客観的に判断し、その後の予算編成や財政運営に活かすなどが会議における決算認定の意義・目的とされています。



パート
2

こんにちは赤ちゃん！

新生児が誕生してから4ヶ月をめどに保健師が全戸訪問を実施している。

元気に育つ赤ちゃんを訪問し、母親の育児に関する不安や心配事の相談にも対応している。(家庭訪問件数194件)

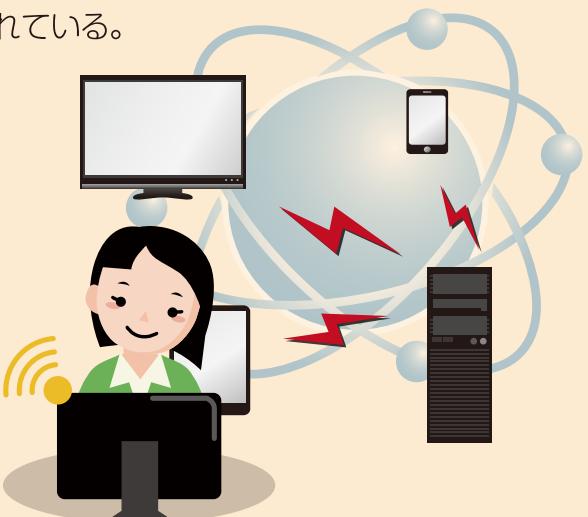


乳児家庭訪問
全戸訪問事業 約7万7千円

インターネット環境の充実を！

大滝区のケーブルテレビの整備から13年が経過し、インターネット環境に不具合が生じているのが現状である。

今後、整備を含めた新たな対応が求められている。



ケーブルテレビ 事業運営費 約3,378万円
(使用料 約1,141万円)

災害に備えて！

平成28年度は避難所運営未経験者の職員の内23名を対象として避難所運営の机上研修を行った。

今後もより多くの職員に対して研修を行う。



避難所研修費を初めとした職員研修費
約497万円

ゴミステーション修繕にも補助金!!

自治会が管理するゴミステーションの破損被害やごみの散乱などが多く出ている。

今後、ゴミステーション修繕にも補助金を活用できることが確認された。

※新設時…上限2万円

修繕費は1/3で…上限1万円



ごみステーション
助成事業 約7万円

農地再編にむけて！

先進地5ヶ所の視察と中央要請活動を行い、現在は地権者641戸の9割に説明を完了。

今後は地権者と、より具体的な話し合いを行う。



国営緊急農地再編整備
推進事業 **25万円**



答弁中の市職員



氾濫の原因は河川の堆積物・流木

今後、国と道に要望を行い計画的に河川の堆積物や倒木の除去を行い大きな被害にならないよう維持していく。

河川監視カメラの台数の増加やドローンの活用も検討する。



河川維持管理 **約1,551万円**

マナーを守ろう！駐車場！！

総合体育館の駐車スペースが空いていても、玄関付近の障がい者用エリアに駐車する方や、マナーの悪い車によってバスの通行や障がい者の利便の妨げになっている。

引き続き指定管理者に管理の徹底と利用者への周知を促すことを確認した。



スポーツ施設運営管理委託料

1億2,776万円

不登校減っています！

不登校サポートハウス「フェニックス」は週3回開催される相談、学習支援を開設している。

28年度は13名が利用しており、そのうち9名の中3が高校受験し全員進学した。



不登校児童生徒

サポートハウス

運営経費

約71万円

もっと愛のいしよう !!

相乗り率は毎年少しづつ下がってきている。

通常便の利用率(6.6%)が低くなっている。定時便の利用率が高い。

今後は事業所と地域公共交通のあり方について検討が必要になると思われる。



ライフモビリティ助成事業

約1,285万円

答弁中の市職員

駐車場が広くなる !!

観光物産館の入館者数は年間140万人を超えていて、売り上げも全道ナンバーワンを誇っている。

駐車場の狭さが利用者、運営側からも指摘されている。

利用客の利便向上の為、現在30~40台分の場所の確保を検討中である。



観光物産館及び

黎明観運営管理委託料

1,760万円



所管事務調査

《9月7日(木)》

★伊達市朗読ボランティアやまびことの意見交換会。

伊達市朗読ボランティアやまびこは、斎藤麗子会長をはじめとして15名の会員の方々で活動をされています。

意見交換会では事務局の清水悦郎さんと会員5名の方々にお越し頂きました。

意見交換会では、議会だよりの内容をわかりやすく伝えるため、どのようななところを日々研究されているのかを教えていただき、広報常任委員会としても読みやすく聞きやすい議会だよりにするために、次のような点で意見を交換しました。

- 【良い点】**
- ①会員の中に、地方から来られた方がおり、地名や人名がわからず調べながら読んでいる。出来ればフリガナをつけてほしい。
 - ②箇条書きにすると意味が伝えにくい。
 - ③意見書が読みにくい。
 - ④一般質問での答弁に、検討はあるが、その後どのように検討されたのかがわからない、出来れば遅れてでも進捗状況を載せてほしい。など活発な意見交換会が行われた。



豆知識 まめちしき

◆ 所管事務調査とは?

各委員会が担当している行政分野について、調査することです。

市担当者から説明を受けたり、直接現地を視察したりします。

パート
3